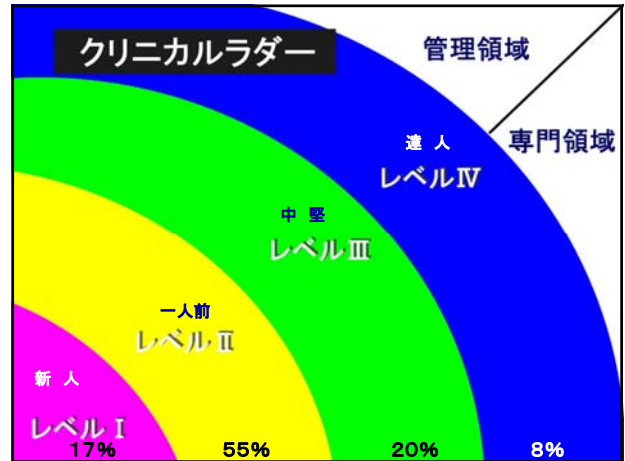
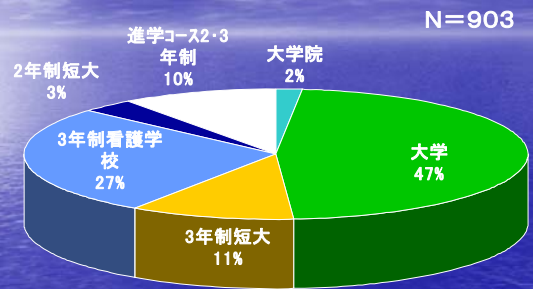


新人看護職員研修の実際 Advanced Beginner

北里大学病院
看護部長 小島 恭子
(発表)教育看護科長 野地金子

平成17年看護職員教育背景



新人看護職員指導者育成研修

- 平成17年度新規採用者 165名
- 新人指導者(プリセプター)育成研修
- 教育学者からの講義
「発達」と「教育」の概念 良き関わり構築
未来を生き抜く力「達成感」 夢と希望への新しい航海
- 教育委員の講義
新人がチームに受け入れられるように責任をもち支援
新人の知識・技術の到達度を確認し継続指導する
リスク回避を常に意識して指導する
- プリセプターの支援
病棟管理者が支援
教育委員会がプリセプターをフォロー

新人看護職員研修

対象:看護基礎教育を終了した国家資格をもつ新卒の看護師・助産師

目的:新人看護職者は、看護基礎教育で修得した知識・技術だけでは、高度・複雑化している臨床の場で安全な看護ケアを提供するのは困難な状況である。そのため、新人看護職員が卒後1年間で修得すべき臨床実務に必要な知識・技術および社会人・専門職業人としての態度を身につけ、ベッドサイドケアが安全・確実にできるよう育成する。

入職時(現場に配置する前)に行う医療安全教育

目的:

- * 医学的優遇を伴う処置を安全に提供するための基本的知識・技術教育
- * 臨床での戸惑い、不安を最小限にし、仕事の場として意識できるようにする

1. 医療人としてのマナー

一人ひとりが病院の代表者である。挨拶がすべて、清潔感のある身だしなみ、誠意、思いやり、気配り、表情、そして 五感を使って感性を磨くなど

2. 看護倫理

3. 医療事故防止に向けて

内服編 チューブドレーン編 医療ガス編 転倒・転落編
注射編 ; 注射指示の見方 輸液ルートのつくり方
注射を実施するまでのプロセス(VTR)
まちがいがやすい薬剤

レベル I

新人看護職員の到達目標

1. 日常生活援助のための知識・技術・態度を身につけてベッドサイドケアが安全確実にできる。
2. チームメンバーの役割と責任を果たすことができる。
3. 院内研修、看護実践を通して看護の知識を深められる。
4. 研究活動に参加する。

《看護実践》

- 病棟の日常業務の流れ・週間予定がわかる。
- 病棟の特殊性と各勤務の業務内容がわかる。
- 入院患者の代表的な疾患・治療を理解する。
- 感染症の取扱、清潔操作、麻薬・準麻薬、輸血の取扱がわかる。
- 主な検査・処置の目的・方法・準備・介助、患者への説明ができる。
- 急変時の適切な看護処置ができる。
(救急カート、除細動の準備など)
- 自分の行う看護実践に責任をもって報告・連絡・相談する。

《管理・リーダーシップ》

- 看護部の今年度の目標が言える。
- 病棟の概要・看護目標・体制について言える。
- オーダーシステム、ルールがわかる。
(オンラインシステム、KNS、物流システム)
- 看護業務の経済的面に注意をはらうことができる。
- チームメンバーの役割・機能を発揮する。
- 事故発生時の連絡・報告ができる。
- 災害発生時の対処方法がわかる。

《教育》

専門職業人としての責任を自覚する

- 院内教育プログラムへ参加する。
- 配属セクションの勉強会へ参加する。
- 看護に関わる法律を知る。
- 社会人、職業人としての常識的な行動がとれる。
- I 事例をまとめ報告できる。
- 看護学生の実習に配慮できる。

《研究》

- 看護研究に関心をもち、参加していこうとする意欲をもつ。
- 院内の研究発表会、トピックスへ積極的に参加する。
- 文献検索ができる。

新人ナース1ヶ月目研修

目的: 臨床実務に直結した看護技術と精神面の弱さをフォローする

- ① 報告・連絡・相談の必要性、大切さを学ぶ。
 - ◆ 同期同志が集い、臨床で1ヶ月を過ごしての不安、悩み、戸惑いなど、身体面・精神面を含めて語り合い、気持ちを表出する。
 - ◆ 教育委員は、新人の表情・話し方などから現状を読み取る。
- ② 麻薬・向精神薬の基礎知識、法的側面、管理の重要性を理解する。
 - ◆ 向精神薬“1つ拝借”・・・3つの罪を知る
- ③ 輸液管理とME機器トラブル対処について習得する。
- ④ 感染看護の基礎知識、針刺し予防、手洗い法を習得する。
- ⑤ TA-PACKシステムについて
 - ◆ エゴグラムの分析を学び、自己の傾向を知る。

新人ナース3ヶ月目研修

目的: リアリティショックを強く感じて落ち込む時期と捉え自信をもって前に進めるようにする。

- ① 3ヶ月目の自分自身をふりかえり、課題を明確化する。
 - ◆ 困っていること、悩んでいることをラベルに書き出す。
 - ◆ 所属セクションの5大疾患の看護を修得する。
- ② 人工呼吸器の取扱と看護のポイントを習得する。
 - ◆ 人工呼吸器の使用中の看護について学ぶ。
- ③ 心電図について
 - ◆ 重症不整脈、心電図モニターの取扱について学ぶ。
- ⑤ 心肺脳蘇生法のABCを習得する。
 - ◆ 救急蘇生、気道確保の技術修得

新人ナース6ヶ月目研修

目的: 一人立ちに向けて、臨床の場で多重課題・時間切迫の状況下で優先順位を選択し、安全に正しく看護ケアが提供できるかシミュレーションで確認する

- ① 多重課題、時間切迫シミュレーション
- ② 職場適応状況について
 - ◆ 配置された職場についての満足度、理解度、自由度、成長実感度についてグループワークし、自分ができていることできないことなどを知る。
- ③ 技術チェック
 - ◆ 自己評価、プリセプター評価したものを基にグループワークし、自己の技術修得について知る。
- ④ メンバーシップについて学ぶ。
 - ◆ 看護部目標、病棟目標、自分の役割を話す。
 - ◆ ゲームを通してメンバーの役割を知る。

多重課題・時間切迫シミュレーション



シミュレーション学習の設定

【学習目標】

多重課題・時間切迫の状況下で、安全に優先順位を選択し、ケアが提供できる

1. シミュレーションとは(広辞苑)

物理的・生態的・社会的等のシステムの挙動を、これとほぼ同じ法則に支配される他のシステムやコンピューターの挙動により模擬すること……行動科学; 模擬実験
2. シミュレーションの内容

今回のシミュレーションでは、時間切迫、多重課題の状況で

 - ・ 確実な看護ケアの提供ができるか
 - ・ 自分の能力の限界を知り、先輩ナースの応援を求められるか
 - ・ 態度・言葉遣いは適切か
 - ・ 正しい優先順位が選択できるか

【評価の視点1】 確実な看護ケアの提供

A患者: 点滴が終了しそうなことをNsコールで連絡

- ① 訪室するときに他の患者に目を向け挨拶できたか
- ② ボトルとワークシート、アルコール綿をトレーに準備できたか
- ③ 薬品名・患者名を確認したか(ワークシートの確認、患者さんに名前を名乗ってもらう)
- ④ 患者さんに点滴を交換することを説明したか
- ⑤ 処置前に手洗い or ウェルパスを使用したか
- ⑥ アルコール綿で刺入部を拭いて接続したか
- ⑦ 点滴のルートを手繰って確認、刺入部の状態の確認はできていたか

B患者: トイレに行きたいと声をかける

- ① 患者さんに返事をしたか
- ② 患者さんのペースに合わせて、声をかけながらトイレ誘導ができたか
- ③ 排泄終了後、再度トイレからベッドへ患者さんのペースで誘導できたか